

かんきょう観察会報告

活動グループ名: 赤塚公園自然観察会

観察日時: 2017年11月26日(日) 午前10時~12時

観察地域: 区立美術館前→梅林→郷土資料館横の城址公園周りの道→バッタ広場

参加者: 鴨志田、佐藤、福嶋、福嶋、森下 (計5名)

天気: 晴れ

観察結果:

◎クモ類

ジョロウグモ
アオオニグモ
ムツボシオニグモ
ワカバグモ
ネコハエトリ
ビジョオニグモ
アサヒエビグモ
ギンメッキゴミグモ
ゴミグモ

◎ハエ類

ツマグロキンバエ
ツマグロコシボソハナアブ
キアシフンバエ
ツヤホソバエ sp

◎ハチ類

オオスズメバチ

◎野鳥

ヒヨドリ、メジロ、シジュウカラ

◎花

ヤツデ、イヌハウズキ、オオブタクサ

◎チョウ類

ヨスジノコメキリガ
キタキチョウ
ミノムシ

◎カメムシ類

アオモンツノカメムシ
ホソヘリカメムシ
クサギカメムシ
ツマグロオオヨコバイ
クロスジホソサジヨコバイ
クズヒメヨコバイ
ヤツデキジラミ

◎コウチュウ類

ナナホシテントウ
ナミテントウ
ニジュウヤホシテントウ 幼虫

◎虫こぶ

クヌギハケタマフシ(クヌギハケタマバチの虫こぶ)

◎果実、種子

ガマズミ、ヤブミョウガ、コムラサキ、ウバユリ、コセンダングサ

観察概要:

観察会は、美術館前に10時に集合しました。はじめに森下さんからヒマラヤスギの球果(きゅうか)を、佐藤さんからは家の近くで採集したキマダラカメムシを見せていただきました。

美術館前のカキの木では、ヒヨドリやメジロ、シジュウカラが熟した実を食べていました。梅の木の幹にはアオオニグモ、サザンカの花にはツマグロキンバエ、ツマグロコシボソハナアブがいました。

郷土資料館横の城址公園周りの道に行くと、花粉の時期が終わり雌しべが伸びはじめたヤツデの花、葉の裏にはヤツデキジラミがいました。更に道沿いに観察しながら進むと、イヌハウズキ、オオブタクサの花、ガマズミ、ヤブミョウガ、コムラサキの実、笹などの葉の上にワカバグモ、ヨスジノコメキリガ、アオモンツノカメムシ、ムツボシオニグモ、ニジュウヤホシテントウの幼虫を観察しました。バッタ広場への道の両側では、三つに割れて開いたウバユリの実に種子がたくさん入っていることを観察しました。

バッタ広場では、コセンダングサの種子、ナミテントウ、ナナホシテントウ、キタキチョウ、ゴミグモ、ギンメッキゴミグモ、ネコハエトリ、ビジョオニグモ、アサヒエビグモ、ホソヘリカメムシ、クサギカメムシ、ツマグロオオヨコバイ、クロスジホソサジヨコバイ、クズヒメヨコバイ、オオスズメバチ、キアシフンバエ、ツヤホソバエ sp、オオカマキリとハラビロカマキリの卵鞘(らんしょう)、クヌギハケタマフシ(クヌギハケタマバチの虫こぶ)、ミノムシを観察しました。

<2017年11月26日 赤塚公園自然観察会写真>



ヒマラヤスギの球果(きゅうか)



キマダラカメムシ



ツマグロキンバエ



ツマグロコシボソハナアブ



アオオニグモ



ヤツデキジラミ



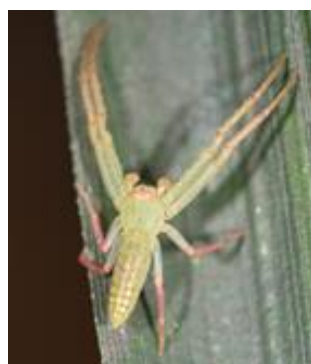
ムツボシオニグモ



ヨスジノコメクリガ



ニジュウヤホシテントウ幼虫



ワカバグモ



ヤブミョウガ



コムラサキ



ウバユリ 種子



ビジョオニグモ



クロスジホソサジヨコバイ



オオスズメバチ



キタキチョウ



クサギカメムシ



ツヤホソバエ sp



ゴミグモ



クヌギハケタマフシ(クヌギハケタマバチの虫こぶ)



アサヒエビグモ



観察後の集合写真

次回は、2月18日(日) 10:00 赤羽自然観察園 西門 集合